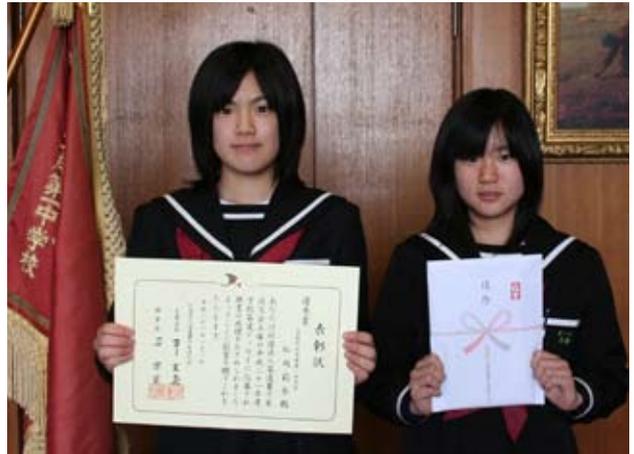


一中茶道部で学んだ心、活かしていきます ～茶道エッセイのコンクールで2人が入賞～

第2回中学校茶道エッセイ（主催 社団法人茶道裏千家淡交会総本部）のコンクールで、荒尾一中生が有終の美を飾り、3年生の松岡莉奈さんが最高賞の優秀賞、2年生の平野碧希さんが佳作に選ばれました。2人は茶道を始めたきっかけや、茶道を通じて学んだことを日常に活かしていることなどを文章に綴り、今回の受賞を果たしました。2人は喜びとともに、今後茶道で多くを学び、日常に活かしていきたいと笑顔で語ってくれました。

▶松岡さん（左）と平野さん（右）。「動作が落ちて着いて、ふたりとも茶道を通してとても成長しました」と、馬場陽一校長先生も目を細めていました。



幸せ感じるエコツーリズムをめざして ～「あらお感幸ツーリズム」シンポジウム～

2月20日（土）、ホテルヴェルデでおよそ200人が参加して開催されました。今年度実施された総務省の「地域力創造アドバイザー事業」成果の検証と発展を目的に開催されました。基調講演や成果発表、活動紹介、パネルディスカッションが行われ、荒尾が持つ可能性の豊かさやこれからの取り組みへの展望が語られました。同時に郷土食や特産品の試食・試飲も行われ、参加者はこれまでの取り組みで得られた成果を舌でも味わっていました。



1 パネルディスカッションの様子。専門家のほか、市民からも3人のパネラーが参加。2 用意された試食は荒尾がぶれ、荒尾乃葡萄酒、焼酎「小位」、海鮮だし、梨カシ。どれも大好評。3 取組事例の展示や商品の販売も行われ、充実した会場。

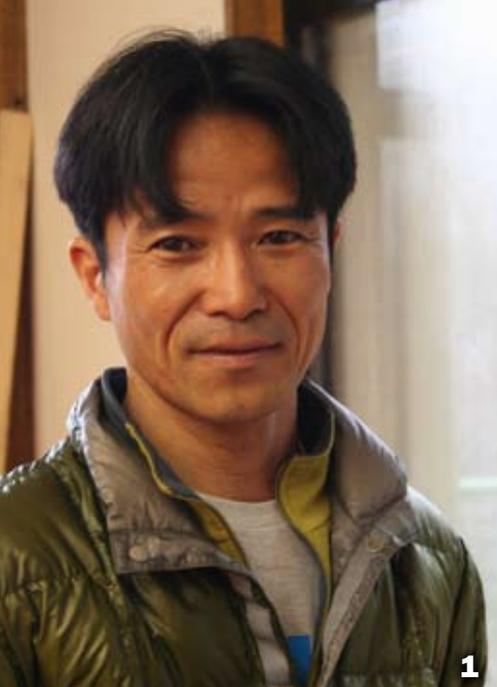
三池炭鉱関連施設の世界遺産登録を！ ～世界遺産シンポジウム in 荒尾～

2月21日（日）、文化センターで開催されました。ステージでは有明高校・荒尾高校の生徒によるアトラクションののち、東京大学大学院教授西村幸夫さんらの基調講演と炭坑節のアトラクション、最後に三池炭鉱関連施設の世界遺産登録へ向けたパネルディスカッションが行われました。

万田坑の歴史や一般公開開始、世界遺産登録については次号から3回にわたって特集します。シンポジウムの様子もその中で掲載します。

▶炭鉱関連の産業遺産として高く評価されている三池炭鉱関連施設とその世界遺産登録の可能性について、専門家の貴重な意見も伺うことができました。





1

PICK UP!
ひとの
ちから

地元の山・小岱山、魅力をもっと知ってほしい

～藤本博文さん（平山）の迫力の写真と
小岱山ビジターセンターのコラボレーション～

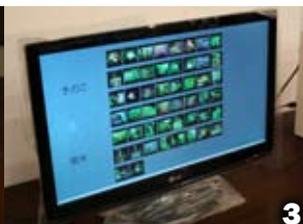
玉 名市にある小岱山ビジターセンター。入口から目に飛び込んでくるのは、鮮やかな色彩のコントラスト。つややかな緑のシダと真っ赤なカエデの写真が柔らかい照明に浮かび上がり、鮮烈に目に焼きつきます。

この写真は、荒尾市在住の藤本博文さん（写真1）の作品。小岱山の良さを多くの人に知ってもらいたいと、ビジターセンター職員とともに計画しました。センターの内装も少しずつ模様替えをされていて、訪れる人を新たな雰囲気を出迎える準備中です。藤本さんは、痛めた腰のリハビリの一環として、小岱山登山を始めました。登山を通じて知り合った人が、藤本さんが写真を生業にしていたことを知り、センターに紹介。それが写真を展示するきっかけになりました。藤本さんの写真は畳1枚×半分ほどの大きさで迫力。シダとカエデの写真（写真2）を含め、石仏など3枚の写真が展示されています。「小岱山は身近で、初心者から楽しめる素晴らしい山。もっと多くの人に良さを知ってほしい」藤本さんは暖かい眼差しで語ってくれました。

【小岱山ビジターセンター ☎73・3900
（午前9時～午後4時30分 火曜日休館
木曜日午後は不在）】



2



3

1 「渡り鳥や昆虫、植物・きのこも多様で面白い山ですよ」と魅力を語る
2 文中写真。なにげなく目に留まった道端の風景だそう。両脇の照明も凝っている 3 小岱山の植物やきのこなどの画像を検索できるシステム。こちらも藤本さんがボランティアでデータ整理を手がけた

組	種目・組別	性別	コース	1位		記録
				氏名	学校・クラブ	
1	中学生	男	C	北川 翔也	荒尾 JAC	6:06
2	中学生・高校生	女	C	高木 彩加	有明高校	6:17
3	高校生・一般 29歳まで	男	C	戸谷 圭佑		6:00
4	一般 30・40歳代	男	C	松川 将三		6:34
5	小学生 3年	男	B	松本 圭悟	サンビーノ	4:41
6	小学生 3年	女	B	川口 愛優菜	一小	5:02
7	小学生 4年	男	B	古川 智己	荒尾 JAC	4:29
8	小学生 4年	女	B	森木 あかり	荒尾 JAC	4:30
9	小学生 5年	男	B	井上 祥希	荒尾 JAC	4:17
10	小学生 5年	女	B	塩山 莉央	荒尾 JAC	4:27
11	小学生 6年	男	B	松尾 響	三小	4:13
12	小学生 6年	女	B	波瀬山 香	荒尾 JAC	4:36
13	一般 50歳以上	男	B	杉谷 照雄		5:00
14	一般	女	B	松川 舞		5:22
15	小学生 1年	男	A	市山 世生	緑ヶ丘小	3:46
16	小学生 1年	女	A	東 七海	八幡小	3:51
17	小学生 2年	男	A	山下 留依	Jドリーム	3:32
18	小学生 2年	女	A	塩山 桃花	荒尾 JAC	3:35
19	幼稚園・保育園年少	男	A	岩山 こうき	みやじま幼稚園	5:00
20	幼稚園・保育園年少	女	A	前田 彩花	第二四ツ山幼稚園	5:25
21	幼稚園・保育園年中	男	A	荒木 拓海	ひまわり幼児教室	4:23
22	幼稚園・保育園年中	女	A	前田 琳香	桜山保育園	4:34
23	幼稚園・保育園年長	男	A	安岡 篤紀	ひまわり幼稚園	3:59
24	幼稚園・保育園年長	女	A	藤好 真雛	あけぼの幼稚園	4:13

笑顔で駆け抜けた早春の荒尾路 ～第38回荒尾市民マラソン大会～



▲ 小さなランナーを家族が笑顔で出迎えます

気になる順位。たとえ何着でも、がんばった記憶が思い出にのこりますね ▶

2月21日（日）、運動公園陸上競技場で行われました。暖かい日差しの中、大人から子どもまで約1千650人のランナーが力強く走り抜きました。沿道には多くの応援者が立ち並び、最後まで暖かい声援を送りました。ゴール周辺は、走り切ったランナーと出迎える家族の笑顔に満ちていました。各種目・組別でゴールテープを切ったのは左表の皆さん（敬称略）。おめでとうございます。